

はじめに

平成28年第1回倶知安町定例町議会の開会にあたり、12月定例会以降における教育行政の主だった事務事業の執行状況及びその概要についてご報告をさせていただきます。

(学校教育関連)

1 平成28年度の学級編制の動向について

平成28年度の学級編制にあたり、2月1日現在の主な状況について報告をさせていただきます。

倶知安中学校では、現時点で平成28年度の新1年生が115名となっており、道教委が実施している少人数学級実践研究事業により35人学級が適用されますと、4学級編制となる見込みとなっております。

新2年生は150名で4学級、新3年生は119名で基準学級数では3学級となりますが、第3学年という大切な時期の学習環境を整える意味でも、町費による教員を任用し、現在の4学級のまま新学期をスタートさせたいと考えております。

また、特別支援学級では、西小学校に情緒学級、倶知安中学校に言語障害児学級が新設される予定となっております。

現在、各小中学校では新学期を迎えるにあたり、学級編制に基づく教室の配置検討や、指導に必要な教材等の精査を行っており、

今年度中に整備する必要があるものにつきましては、今定例会に補正予算案として計上させていただいております。

2 中体連スキー競技の全道大会での結果について

中体連の冬季スキー競技は、1月に全道大会、2月には全国大会が開催されました。

クロスカントリーの全道大会は、札幌市の白旗山競技場において1月12日から3日間の日程で開催され、倶知安中学校からは1・2年生の男子3名、女子2名が出場しましたが、残念ながら全国大会への出場とはなりませんでした。

アルペン競技の全道大会は、旭川市のカムイリンクススキー場で1月13日から4日間の日程で開催され、2年男子1名、1・2年女子2名が出場しましたが、こちらも残念ながら全国大会への出場はなりませんでした。

生徒の皆さんには、今年の悔しさをばねに、来年こそ全国大会へ出場できるよう、今後の練習に取り組んで行っていただきたいと思います。

3 小中高英語連携事業について

今年度3回目となるイングリッシュ・ウインターディキャンプを1月24日に、小学生7名・中学生2名・高校生5名の合計14名の参加により開催いたしました。

最終回となる今回は、外国人で賑わうヒラフスキー場を舞台に「実際に英語を使って外国人観光客へインタビューを行なう」をテーマに、先生方の指導を受けながら、高校生をリーダーに班ごとの活動となりました。

最初は自分たちの英語が通じるのか不安を感じていた子どもたちも、多くの人と接するうちに自信を深め積極的にインタビューを行ない、午後からは結果のまとめや発表についても英語で行い、デイキャンプを無事終了しました。

また、乗り入れ授業につきましては、小学校に対して中学・高校の先生方のご協力をいただき、冬休み明けの1月・2月に実施をしたところであります。

今年度の小中高英語連携事業の総仕上げとして、高校教員と高校生がペアになって中学校へ出向いての乗り入れ授業を、3月24日午後から予定しておりますので、多くの皆様にもご見学いただけたらと思います。

4 ジャパンパイル（株）の杭工事について

本町の調査において、杭工事を伴う工事発注は過去10年間で6件3施設あり、このうち旭化成建材に続き、杭工事データ等の改ざんに係る報道があったジャパンパイル（株）が関係した工事は、平成24年に実施した倶知安中学校増築改修工事、1件1施設でありました。

この工事では、ジャパンパイル（株）が増築棟（普通教室東側）の基礎部分の杭工事を担当し、プレボーリング拡大根固め工法によるPHC節付継杭計17本を施工していることが判明したため、安全性確保の観点から独自に調査を行いました。

調査では、工事監理者・元請業者・発注者の3者で、杭打ちデータ流用などの改ざんがなかったかを確認するとともに、施工後3年を経過するなかで、安全性確保の観点から傾きなどの不具合は発生していないかなど、現地で目視による外壁等の確認、さらに高さ測定器を使って基礎周囲の沈下状況について測定を行いました。

結果、本工事に関しましては、データ流用等の改ざんはなく、適正に施工されたものと判断するとともに、現地調査におきましても、構造上問題となるようなひび割れ等は確認できず、数値上の傾き・沈下等の発生も見受けられなかったことから、安全性が確保されているものと判断いたしました。

5 倶知安町教育大綱について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）」に基づき、教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、今般、総合教育会議の協議を踏まえ、「倶知安町教育大綱」が策定されました。

教育委員会といたしましても、大綱策定に係る基本的な考え方

を協議しながら、また、教育行政は本町のまちづくりの観点からも重要なものであるとの認識に立ち、これまで策定に関わってまいりました。

今後におきましては、教育大綱の基本理念・基本方針等に基づき、教育行政のさらなる充実に努め、特に大綱期間における重点的取組みにつきましては、教育委員会として、創意工夫を重ねながら取り組んでいきたいと考えております。

6 小学校の適正配置基本計画の策定について

このことにつきましては、平成27年度の教育行政執行方針の中で今年度中に策定し公表するとしていたところであります。

教育委員会議の中での協議事項としまして、先に審議会からいただいた答申についての内容なども考慮しながら、町内の小学校のあり方について様々な角度から検討・協議を行ってきたところであり、今後の倶知安町における小学校の適正配置について教育委員会としての基本的な考え方について、最後のまとめを行っているところであります。

現在も重ねて協議を行っているところであり、まとまりしだいが報告させていただきたいと考えておりますので、よろしくご理解のほどお願いいたします。

7 倶知安町学校給食センターの運営方法について

現在建設中の新学校給食センターの運営方法につきましては、これまで教育委員会議のなかで、様々な角度から検討協議を行ってまいりました。

その結果、最も大切な「安心・安全」な学校給食の提供を基本とし、学校給食衛生管理基準及び衛生管理マニュアルに則った安定的な運営を図るには、専門的見地からの知識や技術は必要不可欠なものであり、また、給食調理員の確実な確保といった観点からも、経験豊富な民間業者に衛生管理や業務管理等を委託することが望ましいという決定をしたところであります。

(社会教育関連)

平成28年倶知安町成人記念式典「はたちのつどい」が、1月10日に倶知安町公民館大ホールにおいて開催され、93名の新成人が出席いたしました。

式には新成人のご家族や、町議会議員の皆様のほか多数のご来賓に出席をいただき、厳粛に式典が行われました。

くっちゃん町子ども特派員派遣事業では、1月13日から1月15日まで、町内の各小学校から参加した8名の特派員が、「新幹線」をテーマに、北斗市、青森市、盛岡市を訪問いたしました。

北斗市役所では、3月26日に開通する北海道新幹線について

お話を聞き、盛岡からの帰路は実際に新幹線に乗車し、通常の列車との比較、新幹線の利便性や新幹線駅の様子等取材いたしました。

派遣事業終了後、7回の事後研修を行い、壁新聞として成果をまとめ、公民館ホールに掲示しておりますので、是非多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

小川原脩記念美術館では、オーストラリアに加え、中国、台湾からの観光客の姿が目立つようになり、その多くが英語を使用していることから、展示室における作品キャプションやあいさつ文を日英の二か国語表記とするなど、海外からの来館者の便宜を図るようしております。

さらに、本年に入り、美術館を紹介する英文リーフレットが出来上がり、館内での使用と合わせ、観光協会等の協力も得ながら、コンドミニウムを中心とする施設にも配布いたしました。

また、現在、企画展「くっちゃんART2016」を開催中ですが、倶知安町を中心にニセコ町、黒松内町、赤井川村、共和町、さらには海外在住作家の作品も多く見られ、出品者の約3割が外国人という国際色豊かな作品展となっております。

今年で8回目となる「くっちゃんART2016」では、今年の新たな取り組みとして、出品者自身が作品を解説する「アーティスト・トーク」も実施しているところです。

倶知安風土館におきましては、自然史展示に「鳥 一飛ぶための

工夫一」を追加する作業が完了し、現在はほ乳類を題材にした「けもの一形と生活一」の展示作成を進めているほか、収蔵庫においても、新年度当初の一般公開を可能にするために、資料の再整理と展示の準備作業を進めております。

風土館講座では、北海道新聞野生生物基金からの後援をいただき、1月31日に酪農学園大学金子教授と旭山動物園坂東園長をお招きし、日本における人々の生活が、ボルネオ島の野生動物に及ぼしている大きな影響についてお話を聞くことが出来ました。

むすびに

以上、第4回定例町議会以降の教育行政の主な事業についてご報告申し上げましたが、事務事業の詳細につきましては、以下に掲載しております資料をご参照いただきたいと思います。

これで教育行政報告を終わります。